

1 2 各系のFD活動について（2024 年度）

1 2－1 機械工学系

2024 年度 機械工学系 FD 活動報告

機械工学系では、継続的な FD 活動の取り組みを続けている。2024 年度の主な取り組みは以下である。

1. JABEE 関連活動

年度の初めに系会議時に、昨年度の教育状況および JABEE 関連活動の取り組み状況について確認し、系内の全教員で情報共有した。そして、系内に設けているプログラム統括委員会と 5 つのワークグループ (WG) からなる点検組織のメンバーの更新を行った。先回の審査結果とその中に示されている指摘事項を踏まえて、年度の活動の方針を各 WG で審議・決定した。各 WG 主査より全体会議において、各 WG の活動の方針・内容が報告された。その方針に基づいて、相談や情報収集などの活動を行った。

2. コース教務検討委員会の実施

前期と後期の講義期間が終了した後に定期的な機会を設け、加えて、必要に応じて、修士特別研究の中間報告会や最終審査会、2 年次プロジェクト研究成果報告会等の各コースで行う教育活動の後に、各コースを構成する教員が集まり、各教員が担当する授業の実施状況、問題点・工夫改善点、成績評価結果、その他等について情報交換を実施した。そこでは各講義担当教員が評価を終了した講義について、その結果や講義方法等についての課題点や改善を試みた点などを報告し、更なる改善について、相談や議論を行った。講義や実験実習における困りごとに対してのベテラン教員が若手教員へのアドバイスなどにより、コース教員全体の指導力向上にも努めている。

3. FD 講演会、授業参観等への参加

系として特に参加の指定や義務付けは行っていないが、授業参観等の学内開催 FD 関連行事に教員が主体的に選択して参加している。系長、教務委員などが、必要に応じて FD 参加を推奨・斡旋することもある。年間 3 回以上当該活動を実施するという系内での目標は、多くの教員が達成できている。

4. 教育貢献賞受賞者の選出方法

系内における教育貢献賞の選出方法は以下の通りである。

- (1) 前年度の教育領域全体の評価が S の者
- (2) 2 コマ以上の講義・演習を担当している者
- (3) 前年度の授業評価アンケート結果の「授業の総合評価の評価点」の平均点（アンケート回答者数の重み付平均）の最上位者
- (4) 受賞後 5 年間は選出対象から除外する

学生のアンケートの提出率の低下していることにより、少ない評価意見により選考しなければならない状況にある。より良い選考方法への見直しを検討している。